

種類	感染経路	潜伏期間	ワクチンの有無	慢性化	特徴
A型	経口感染	2～4週	あり	なし	ウイルスに汚染された飲食物の摂取により感染するため、飲食の前にしっかりと手を洗い、食品に十分に火を通すことで予防できます。 まれに劇症化し、死に至ることもあります。 A型肝炎の流行地域に渡航する場合や、同居者やパートナーが感染した場合は、ワクチン接種を検討しましょう。
E型	経口感染	2～8週	なし	なし	A型肝炎と同様、汚染された飲食物により感染するため、手洗い、飲食物の加熱が重要です。 まれに劇症化し、死に至ることもあります。特に妊婦が感染した場合は、劇症化する率が高いため適切な予防が必要です。
B型	血液感染	1～6ヶ月	あり	あり	主に感染した人の血液が体内に入ることによって感染します。そのため注射器の共用、輸血、臓器移植、母子感染、性行為などで感染します。 血液に直接手を触れない(手袋を使用する)、かみそりなどの共用をしない、性行為時にはコンドームを使用する等の予防があります。
C型	血液感染	2週～3ヶ月	なし	あり	B型肝炎と同様、血液や性行為により感染します。 感染すると約70%のヒトがC型肝炎ウイルスの持続感染者※となり、放置すると慢性肝炎や肝がんに進展する場合がありますので、適切な治療が必要です。
D型	血液感染	1～4ヶ月	なし	あり	B型肝炎の持続感染者に感染、またはB型肝炎ウイルスと同時感染することで感染が成立します。このウイルス単独では感染をおこしません。